

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-137	高等学校	外国語	コミュニケーション英語 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
212 桐原	コ I 355	PRO-VISION English Communication I New Edition		

1. 編修の趣旨及び留意点

教育基本法第 2 条にある目標とコミュニケーション英語 I の目標の両方の目標の達成を可能にするため、題材の選定と学習内容の構成・展開に留意した。

2. 編修の基本方針

教育基本法第 2 条に示す教育目標を達成するため、題材は、生徒の発達段階を考慮に入れつつ、個人の成長に資するだけでなく、個人と社会の相互補完的な関係について考える機会を設けるものを選定した。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Lesson 1 The Power of Vision and Hard Work	iPS 細胞を作製した山中伸弥博士の半生と、夢を追い求めるための座右の銘を伝える。自己の興味・関心と適性を生かし、自らの進むべき道を開拓し、努力する人物を紹介する題材。(第 2 号)	5～11 頁
Lesson 2 Oh Bento!	世界に広がった日本のお弁当文化を紹介する。日本の伝統文化のもつ可能性を考え、他国の文化に対する考え方や感じ方を深めることのできる題材。(第 5 号)	17～23 頁
Lesson 3 The Sky's Your Only Limit	女性マラソンランナーの先駆者の一人であるキャサリン・スウィツァー氏の経験を通じ、男女の平等を重んじ、より良い社会の実現のために主体的に社会にかかわることの重要性を伝える題材。(第 3 号)	29～35 頁
Lesson 4 Beavers, Engineers of the Forest	ビーバーが生態系において重要な役割を果たしていることを伝える。生命を尊び、自然を大切に、環境保全に寄与する態度を養うことに資する題材。(第 4 号)	41～49 頁
Lesson 5 Chocolate: A Story of Dark and Light	チョコレートにまつわる文化や歴史を学習する。生徒の知的な興味・関心を強く喚起し、広範な知識と多様な物の見方を身に付けることに資する題材。(第 1 号)	55～63 頁
Lesson 6 The Power of Music to Change Young Lives	ベネズエラの音楽教育システム「エル・システマ」について紹介する。自己の能力を伸ばし、自主及び自律の精神を養うに資する題材(第 2 号)であり、社会全体が負う課題と個人が果たすべき責任について考えることのできる題材(第 3 号)。	69～77 頁

Lesson 7 Talking Plants	植物と動物の間及び植物同士の間で行われているコミュニケーションについての記述を通じ、自然の驚異を学習する。生命の尊さ、環境の保全の重要性を伝える題材。(第4号)	83～91 頁
Lesson 8 One Pen Can Change the World	マララ・ユスフザイ氏の国連での演説を読む。より良い社会の実現のために、社会全体が負う課題と個人が果たすべき責任について考える題材。(第3号)	97～105 頁
Lesson 9 Snow Crystals – Winter’s Miracles of Beauty	雪の結晶が生成されるメカニズムなどを学習する。生徒の知的な興味・関心を喚起し、真理を求める態度を養うことに資する題材。(第1号)	111～119 頁
Lesson 10 The Secrets of the Iceman	科学的な測定を使って、5,300年前に亡くなった男のミイラから、有史以前の人類の生活を探る。生徒の知的な興味・関心を喚起し、真理を求める態度を養うことに資する題材。(第1号)	125～133 頁
Reading 1 The Night Train at Deoli	インドの青年が旅の途中で生涯忘れられない出会いを経験する。幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培うことに資する題材。(第1号)	142～149 頁
Reading 2 The Immortal Bard	過去の時代を生きた人間がタイムスリップして現代にやってくる。彼らのようすを通じて、異なる時代に生きることの難しさとは何かを考える。広範な知識と多様な物の見方を身に付けることに資する題材。(第1号)	150～155 頁

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・与えられた情報の中の重要な事実が何かを理解し、その概要を発信する能力を養うことをめざした。(Summarizing)
- ・生徒参画型の教科書をめざして、理解だけにとどまることなく、表現にいたるまでの活動を充実させた。(Listen & React)
- ・コミュニケーションのための文法という考え方に立ち、学習する文法事項および内容を精選した。(Grammar for Communication)

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-137	高等学校	外国語	コミュニケーション英語 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
212 桐原	コ I 355	PRO-VISION English Communication I New Edition		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

- ・基礎的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを適切に活用する能力をはぐくむために、中学校や高等学校における文法事項などの学習内容を、比較的平易な内容からより難しい内容へと段階的に配列した。
- ・自他の生命や伝統と文化を尊重する精神を養い、主体的によりよい社会を実現しようとする態度を養うために、自然・生命の尊さ、日本の伝統文化の可能性、環境問題、社会参加などの題材を採用した。
- ・生徒の言語や文化に対する理解を深めることをめざして、文構造や文法事項を適切に運用する能力を養うための解説と言語活動を設けるとともに、多様な国内外の文化を知ることができる題材を取り上げた。
- ・積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するために、自分の考えを話したり書いたりする言語活動を充実させた。
- ・情報や考えを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を養うために、生徒に身近な言語の使用場面を設定し、「読む」「聞く」「書く」「話す」を総合的・有機的に関連させた活動を多く設けた。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
1. 本課 (Lesson 1~10) ①本文	<ul style="list-style-type: none"> ●「2 内容」の(1)のイ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 ●「2 内容」の(2)のイ つながりを示す語句などに注意しながら読む。 <ul style="list-style-type: none"> ・順序を表す語句： (例) first, then ・付加情報を表す語句： (例) in addition ・同列を表す語句： (例) in other words ・結果を表す語句： (例) therefore, as a result ・対比を表す語句： (例) however 	各課の本文 114 頁 2 行目, 5 行目 62 頁 4 行目 88 頁 13 行目 7 頁 14 行目, 45 頁 15 行目, 45 頁 8 行目 8 頁 8 行目, 18 頁 6 行目, 45 頁 10 行目, 84 頁 8 行目など	各 6 時限 (計 10 課)

<p>②Get the Picture</p> <p>・本文の要点を把握させるための質問。口頭または文字による英問英答の活動。</p>	<p>●「2 内容」の(1)のイ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>●「3 内容の取扱い」の(1) 聞いたことや読んだことを踏まえた上で話したり書いたりする言語活動を適切に取り入れながら、四つの領域の言語活動を有機的に関連付けつつ総合的に指導する。</p>	<p>各課本文の傍注</p>	
<p>③Summarizing</p> <p>・本文の内容に関する英文を聞いて、内容の正誤を確認する（設問 1）。</p> <p>・本文の各パート・各段落の要点を問う問題。それぞれの要点を把握するだけでなく、各パート・各段落の役割と本文全体の流れを理解できるよう示した（設問 2）。</p> <p>・本文の各パートの要点を確認した上で、本課で学習した内容を簡潔に要約する課題（設問 3）。</p>	<p>●「2 内容」の(1)のア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>●「2 内容」の(1)のイ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>●「2 内容」の(1)のエ 読んだり、学んだりしたに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。</p> <p>●「2 内容」の(2)のイ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりする。</p>	<p>12, 24, 36, 50, 64, 78, 92, 106, 120, 134 頁</p>	<p>各 1 時限 (計 10 課)</p>
<p>④Listen & React</p> <p>L</p> <p>・本文に関連する内容の英文を聞いて、その内容を確認する問題。</p> <p>・各言語活動の設定にあたっては、学習指導要領の第 3 款の 1 の [言語の使用場面の例] から適宜選択して取り上げた。</p> <p>R</p> <p>・本文に関連した内容について、意見や感想を述べたり、話し合ったりする活動。</p>	<p>●「2 内容」の(1)のア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>●第 3 款の 1 [言語の使用場面]</p> <p>a 特有の表現がよく使われる場面</p> <p>b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面</p> <p>c 多様な手段を通じて情報などを得る場面</p> <p>●「3 内容の取扱い」の(1) 聞いたことや読んだことを踏まえた上で話したり書いたりする言語活動を適切に取り入れながら、四つの領域の言語活動を有機的に関連付けつつ総合的に指導する。</p>	<p>13, 25, 37, 51, 65, 79, 93, 107, 121, 135 頁</p> <p>13, 65, 79, 107, 121 頁</p> <p>13, 25, 37, 107, 121 頁</p> <p>51, 65, 93, 135 頁</p> <p>13, 25, 37, 51, 65, 79, 93, 107, 121, 135 頁</p>	<p>各 1 時限 (計 10 課)</p>

<p>・適宜，事実と意見・感想を区別して述べる活動も設けた。</p> <p>・各言語活動の設定にあたっては，学習指導要領の第3款の1の[言語の使用場面の例]，[言語の働きの例]から適宜選択して取り上げた。</p>	<p>●「2 内容」の(1)のウ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合ったり意見の交換をしたりする。</p> <p>●「2 内容」の(1)のエ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，簡潔に書く。</p> <p>●「2 内容」の(2)のウ 事実と意見などを区別して，理解したり伝えたりする。</p> <p>●第3款の1 [言語の使用場面]</p> <p>a 特有の表現がよく使われる場面</p> <p>b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面</p> <p>c 多様な手段を通じて情報などを得る場面</p> <p>●第3款の1 [言語の働き]</p> <p>a コミュニケーションを円滑にする</p> <p>b 気持ちを伝える</p> <p>c 情報を伝える</p> <p>d 考えや意図を伝える</p> <p>e 相手の行動を促す</p>	<p>13, 25, 51, 65, 79, 93, 121 頁</p> <p>37, 51, 93, 107, 135 頁</p> <p>65, 93 頁</p> <p>13, 65, 79, 107, 121 頁</p> <p>13, 25, 37, 107, 121 頁</p> <p>51, 65, 93, 135 頁</p> <p>13, 79, 121 頁</p> <p>79, 107 頁</p> <p>25, 37, 65, 93, 135 頁</p> <p>51, 93, 121 頁</p> <p>79 頁</p>	
<p>⑥Grammar for Communication</p> <p>・Focus：英語表現において特に重要と思われる文法項目を中心に扱った。</p> <p>・Structures & Expressions：文構造のうち運用度の高いもの，テンス・アスペクト・ヴォイス等の複合表現などを中心に扱った。</p>	<p>●第3款の2のイ 文構造のうち，運用度の高いもの（以下は例）</p> <p>・主語＋動詞＋間接目的語＋whatなどで始まる節</p> <p>・主語＋動詞＋目的語＋分詞</p> <p>・主語＋動詞＋目的語＋原形不定詞</p> <p>●第3款の2のウ 文法事項</p> <p>(ア) 不定詞の用法</p> <p>(イ) 関係代名詞の用法</p> <p>(ウ) 関係副詞の用法</p> <p>(エ) 助動詞の用法</p> <p>(オ) 代名詞のうち，itが名詞用法の句及び節を指すもの</p> <p>(カ) 動詞の時制など</p> <p>(キ) 仮定法</p> <p>(ク) 分詞構文</p>	<p>15 頁</p> <p>95 頁</p> <p>80, 95 頁</p> <p>66, 67 頁</p> <p>39, 53, 108, 122 頁</p> <p>109 頁</p> <p>15, 38, 53 頁</p> <p>67 頁</p> <p>14, 26, 27 頁</p> <p>136, 137 頁</p> <p>94 頁</p>	<p>各1時限 (計10課)</p>

<p>・Task：文法項目を適切に運用する能力を養うための活動を設定した。</p> <p>・中学校で学習する文法項目も取り上げ、定着を図れるようにした。 (例) 現在形と現在進行形, 現在完了形, 助動詞, 受け身, to 不定詞, 動名詞, 分詞の形容詞的用法など。</p>	<p>●第3款の3のイ 文法については、言語活動と効果的に関連付けて指導すること</p> <p>●「3 内容の取扱い」の(2) 多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮する。</p>	<p>14, 15, 26, 27, 38, 39, 52, 53, 66, 67, 80, 81, 94, 95, 108, 109, 122, 123, 136, 137 頁</p> <p>14, 26, 38, 52, 66, 81, 95 頁</p>	
<p>2. Skills and Strategies for Communication</p> <p>・チャンクとチャンキング：意味のまとまりを意識しながら読んで理解する(1)。</p> <p>・パラグラフの構成：パラグラフの構成に着目した英文の読み方や書き方を学習する(2)。</p> <p>・ディスコース・マーカーを意識する：典型的なパラグラフの論理展開で使われるつなぎ言葉を取り上げた(3)。</p>	<p>●「2 内容」の(1)のイ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>●「2 内容」の(2)のイ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりする。</p>	<p>139-141 頁</p>	<p>3 時限</p>
<p>3. Reading 1, 2</p> <p>・登場人物の言動やその理由等について問う質問を適宜設けた。</p>	<p>●「2 内容」の(1)のイ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p>	<p>142-155 頁</p>	<p>各 6 時限 (計 2 課)</p>
<p>4. Lexical Grammar</p> <p>・be, have 等の基本語の根本語義と、それから派生する様々な意味や用法を学ぶことで、語の運用能力を養うことをねらいとした。学習者が必要に応じて参照できるようにした。</p>	<p>●「3 内容の取扱い」の(2) 多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮する。</p>	<p>156-161 頁</p>	
<p>5. Pronunciation Tips</p> <p>・各課の言語活動を行うにあたって注意すべき音声上の注意点を解説した。学習者が必要に応じて参照できるようにした。</p>	<p>●「2 内容」の(2)のア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。</p>	<p>162-164 頁</p>	
<p>6. 基本動詞のコアイメージ／前置詞のコアイメージ</p> <p>・基本動詞 10 項目, 前置詞 10 項目の根本語義と、それから派生する様々な意味や用法を学ぶことで、語の運用能力を養うことをねらいとした。学習者が必要に応じて参照できるようにした。</p>	<p>●「3 内容の取扱い」の(2) 多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮する。</p>	<p>前見返し 後見返し</p>	